



キャンパス通信



巻頭言／1  
国際言語文化学部について  
NEWS／2  
輝くND生／10  
各部局から／15  
行事予定／18  
編集後記／19



教員人事

2019年4月1日付

【学部】

国際言語文化学部	
役職	氏名
学部長	岩崎 れい
英語英文学科主任	小山 哲春
国際日本文化学科主任	鷺見 朗子

現代人間学部

役職	氏名
学部長	加藤 佐千子
福祉生活デザイン学科主任	牛田 好美
心理学科主任	廣瀬 直哉
こども教育学科主任	田中 裕喜

生活福祉文化学部

役職	氏名
学部長	加藤 佐千子

心理学部

役職	氏名
学部長	河瀬 雅紀

【大学院】

人間文化研究科	
役職	氏名
研究科長	岩崎 れい

心理学研究科	
役職	氏名
研究科長	河瀬 雅紀

【各センター】

徳と知教育センター	
役職	氏名
センター長	中村 久美

図書館情報センター	
役職	氏名
センター長	萩原 暢子

キャリアセンター	
役職	氏名
センター長	須川 いずみ

カトリック教育センター	
役職	氏名
センター長	久野 将健

心理臨床センター	
役職	氏名
センター長	向山 泰代

元学長名誉教授 本多正昭先生逝去

2018年9月27日、第4代学長および名誉教授であった本多正昭先生が逝去されました。本多正昭元学長は、1996年11月1日から1998年9月30日まで在職され、大学改善検討委員会と教授会の架け橋として学部改革準備に傾注され、「大学の将来構想案」に方向性を築かれる等、本学の発展に尽力されました。

編集後記

平成の時代が終わろうとしています。年号とは不思議なもので、我々は年号に何らかの文化性を読み取ろうとします。「昭和」がただの年号だけではなく、その背景にある価値観や文化を意味することは、想像に難くありません。わたしが昭和生まれだからかはわかりませんが、ある種の懐古主義的な衝動を時折感じるがあります。授業でよく60年代の音楽を流しますが、生まれる前の曲にもかかわらず、いい曲だなあと毎回しみじみ思うのです。また外を出歩けば、演歌や歌謡曲の流れる赤提灯の居酒屋に自然と足が向きます。

時代は目まぐるしく変化しているようです。貧乏院生時代にお世話になった居酒屋「奇兵隊」は、いまは薬局になっています。ラジオでは、なんとか48が聞こえたと思えば今度はなんとか46が流れています。

平成を懐かしむ時がくるのでしょうか、我々はどうにふり返るのでしょうか。わたしにはさっぱりわかりません。

(英語英文学科 大川 淳)

●広報委員長 吉田 ●広報委員 大川、竹原、薦田、石井

京都ノートルダム女子大学 大学報  
NDキャンパス通信 Vol.10

2019年4月1日

編集／広報委員会  
発行／京都ノートルダム女子大学 広報課  
〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地  
URL: <https://www.notredame.ac.jp>  
E-mail: [information@notredame.ac.jp](mailto:information@notredame.ac.jp)  
印刷／T-PLUS/为国印刷株式会社

本誌は京都ノートルダム女子大学保護者会の資金援助を一部受けています。





国際言語文化学部長  
岩崎 れい

## 国際言語文化学部について

国際言語文化学部は、2019年4月、英語英文学科、国際日本文化学科からなる学部として発足しました。人間文化学部の名称変更による再出発です。

現代社会において、国際的な感覚を身につけることは重要であり、その土台となるのが、文化の多様性を受容する素地をつくることと、そのためのツールとして欠かせない言語力の育成です。国際言語文化学部では、そこに着目し、国際社会に求められる人材の育成に主眼をおいた教育をおこなっています。

英語英文学科のグローバル英語コースでは、英語による授業を中心とし、学内および学外留学を通じ、実践的な英語運用力の修得を目指します。英語教養コースでは、英語圏文化・文学、言語コミュニケーション学などの幅広い教養の涵養をめざします。さらに、中学・高校の英語科教員免許を取得することができるほか、〈エアラインプログラム〉や〈医療サポート英語プログラム〉などキャリアデザインに役立つプログラムを準備しています。

国際日本文化学科には、日本語日本文化領域と国際文化領域があります。京都という地の利を生かして伝統文化からサブカルチャーまで幅広く学び、その土台となる日本語についても、実践的な〈話しことば教育プログラム〉などを通じて社会で役立つ表現力を高めます。また、芸術や文学を軸にアジア圏、イスラーム文化圏、ヨーロッパ圏の文化を知り、文化の継承に必要な図書館・博物館についても学びます。国際的な視点を持って日本文化を伝えることのできる人材育成をめざすカリキュラムです。

学部全体では、日本語教員養成課程で日本と海外を結びつける人材を育て、また国際交流にも力を入れています。2017、2018年度には、学生の企画・運営によって香港の学生との交流会を実施しました。他にも文化交流活動プログラムを計画中であり、多くの学生に実践的な学びを通して、国際社会で活躍できる力を身につけてほしいと思っています。

## フレンドフーズ株式会社と産学連携に関する包括協定を締結

2018年10月30日(火)

2018年10月30日(火)、フレンドフーズ株式会社(京都市左京区下鴨)と本学は、地域・社会貢献を目的とした産学連携に関する包括協定を締結しました。主な連携内容は次の通りです。

- (1)産学連携による研究開発の推進に関すること
- (2)地域産業の振興に関すること
- (3)教育及び人材育成に関すること
- (4)インターンシップ・サービスラーニング等、現地学習に関すること
- (5)公開講座の開催等、地域への発信や文化の振興に関すること

今後は現代人間学部を中心に、学生の学びが深まり、かつ、地域社会に役立つような様々な連携事業に取り組む予定です。本年度後期からは、福祉生活デザイン学科の「食生活ゼミ」「地域福祉と活動ゼミ」、心理学科の「社会・ビジネス心理コース」の専門知識を生かし、京都の伝統野菜を使ったオリジナル菓子の開発や障がい者の就労支援施設で製造されたパンの販売、店舗で

顧客へのアンケート調査と分析など、3つの取り組みを進めています。また来年度は、食生活に関する市民講座の開催も計画しています。



## フレンドフーズ、飛鳥井ワークセンターとの連携・協働によるパン販売

2018年11月27日(火)

2018年11月27日(火)、本学とフレンドフーズ株式会社の産学連携事業の第1弾として、フレンドフーズ店舗内で、障がい者就労支援施設である飛鳥井ワークセンター製パン課(店舗名:



Harvesthome HOLYLAND) 製造のパンを販売しました。

現代人間学部福祉生活デザイン学科の酒井久美子准教

授が担当する地域福祉と活動ゼミでは、「地域協働ふるじょく」として、地域の多様な課題に目を向け、解決のための活動に取り組んでおり、その一環として、フレンドフーズでの販売が実現しました。

販売初回の日には、厳選素材を使った食パンやフランスパンなど4種類の商品を揃え、10時頃から販売を開始、15時過ぎには完売となりました。本学学生3名は交代で店頭立ち、緊張の面持ちでお客様へ試食をすすめたり商品説明をしたりと奮闘しました。参加した学生からは、自分の説明により商品の良さを理解してご購入くださったお客様に対する感謝と喜びの声を聞くことができました。今後も三者協力のもと販売を継続する予定です。

## 京都市中央卸売市場第一市場および京都市中央卸売市場第二市場と包括連携協定を締結

2019年1月15日(火)

2019年1月15日(火)、京の食文化ミュージアム・あじわい館において、京都市産業観光局中央卸売市場第一市場(京都市中央市場)及び京都市産業観光局中央卸売市場第二市場(京都市中央食肉市場)と本学は包括連携協定を締結しました。京都市中央食肉市場との連携協定は、京都の大学(法人)として初となります。

- 連携・協力内容は次の通りです。
- (1)健康増進・食育にかかる情報発信および活動に関すること
  - (2)市場活性化・市場流通商品の消費拡大に関すること
  - (3)京都ノートルダム女子大学、京都市中央市場および京都市中央食肉市場の周辺地域の特徴を生かし、その魅力向上に関すること
  - (4)大学の教育活動および人材育成に関すること

今後は現代人間学部福祉生活デザイン学科を中心に、京都の食文化の発信拠点、食品流通の要としての両市場の役割を学ぶ

講義の実施、市場や地域の活性化に結びつくイベントや市場の広報活動への協力等、様々な取り組みを行う予定です。



## ノートルダム遊びプロジェクト2018 自然と遊ぼう! 秋のひととき「ころころ、ころりん」の巻

開催日:2018年11月4日(日)



形を作りやすいのに、しばらくすると溶けるように元に戻る不思議な素材のキネティックサンドでの砂遊び、定番の顕微鏡観察では「まあい植物、生物」を観察しました。とてもシンプルな遊びですが、何度も繰り返し転がしたり、形作ったり、物の理を探索するかのよう熱中して遊ぶこともたちの姿が印象的でした。そして参加された保護者からは、学生の姿に温かい評価をいただきました。他にもたくさんの

本プログラムは、共通教育科目「こどもと自然」(および心理学部の「心理・教育フィールド研修a」)の授業で学生が遊びを企画・製作し、地域の親子と一緒に楽しむものです。今年度は前期の開催予定が7月の豪雨と重なり中止となってしまったため、多くの企画を秋用にアレンジして実施しました。当日は、114名(こども64名 保護者50名)の参加者と学生ボランティア26名(学部学生22名、大学院生4名)、担当教員4名、そして企画や学生指導でもお世話になった葵児童館館長の渡邊先生、総勢145名がアリーナに集いました。

今回は「ころがる」「まるい」をテーマにして遊びを企画。段ボールで傾斜を作り、どんぐりやボールを転がしたり、筒状の廃材を利用した滑走コースで、発泡スチロールのボールをうちわであおいで転がすようなゲーム形式の遊び、また自然科学遊びでは、お湯で温めると形が変わる素材でのスーパーボール作り、固まりやすく

遊びを実施しましたので、詳細の様子は心理学部オリジナルサイト「さいころ日記」の報告を是非ご覧ください。

今年度も「中谷医工計測技術振興財団2018年度科学教育振興【プログラム】助成」をいただき、企画・運営を充実させることができました。12月26日には岡山にて財団主催の成果発表会があり小川准教授が代表で参加。また、この2月には市内公立小学校で開催されたサイエンスフェスティバルにも企画した遊びを携え学生が参加しました。このように学内外の多くの皆さまに支えていただき、学生の活動の幅を広げることができています。次年度もより充実したプログラムになるよう努めていきたいと思います。

(小川 博士、藤本 陽三、高井 直美、薦田 未央)

会場:ユニソン会館大ホール  
参加人数:145名

### 土曜公開講座

## 「今を生きるためにーキリスト教の思想・文化にふれるー」実施報告

開催日:2018年10月6日(土)・11月10日(土)

カトリック教育センターでは毎年秋に一般・教職員・学生を対象にした2回シリーズの公開講座を催していますが、2018年度は以下の通り4人の講師によって行われました。(いずれも土曜日14:00~16:10)

10月6日は鷺見朗子教授(人間文化学科)「生きる知恵を与えてくれるカール・ジブランの『預言者』」、村木美都子(NPO法人東九条まちづくりサポートセンター)「京都 東九条から〜在日コリアン ハルモニ(おばあさん)たちの歴史と今」、

11月10日は室田保夫特任教授(福祉生活デザイン学科)「ヘレン・ケラーと日本」、吉田朋子准教授(人間文化学科)「聖ジュネヴィエーヴとめぐるパリ-絵画作品を中心に-」。

毎年この公開講座を楽しみに受講されている方も多くおら



れ、今回も各講師の熱意あふれる講義から新たな知識と発見を得られた貴重なひとときとなりました。

(カトリック教育センター長 久野 将健)

会場:ユージニア館E401教室  
参加人数:56名

### 福祉生活デザイン学科 公開講座2018

## 「人生100年時代を生き抜くための心身の健康と食ー塩原勝の料理の世界ー」

開催日:2018年10月13日(土)

2018年10月13日(土)、塩原勝氏(ホテルルビノ京都堀川 総料理長)をお招きして公開講座を開催いたしました。

第1部の加藤佐千子教授(福祉生活デザイン学科)による講演



では、高齢者や若い女性の健康状態や食物摂取が健康におよぼす影響について分かりやすく説明していただきました。高齢者は様々な要因により低栄養に陥る可能性があり、適切な食物摂取を具体的に教えていただきました。

第2部は塩原勝氏と加藤佐千子教授との対談が行われ、シェフの着装の意味や氷彫刻の魅力、フランス料理とイタリア料理の違いや調理法について丁寧に説明していただきました。参加者は料理の写真や繊細な氷の彫刻を眺め、料理の世界に引き込まれていました。

アンケートには「第1部、第2部ともに興味深い、楽しいお話でした」という記述が多く挙げられていました。

会場:ユージニア館NDホール  
参加人数:110名

### 人間文化学科 公開講座2018

## 「世界の中で日本を考える〜ドイツの俳句、インドの盆栽〜」 実施報告

開催日:2018年11月11日(日)

2018年11月11日(日)、人間文化学科では2019年度より国際日本文化学科に名称変更することを記念して、国際日本文化研究センター教授の井上章一先生をお招きし、公開講座を開催いたしました。当日は学内外から多数ご来場いただきました。

第1部では、井上先生から「世界の中で日本を考える〜ドイツの俳句、インドの盆栽〜」をテーマに基調講演をしていただきました。日本の文化や生活習慣が世界各地で受容される過程では予想もつかない面白い事例が発生することがユーモアを交えつつ紹介されました。外国から見た日本研究の位置づけについても、分かりやすくご説明いただきました。第2部では、長沼光彦教授と吉田朋子准教授が、第一部のご講演をふまえて質問しながら、議論を深めることをめざしました。文化交流の中では誤解や戸惑いも生じますが、それも含めて自由な解釈を柔軟な態度で

受け止めること、積極的に面白がることの大切さを井上先生のリードのもとで共有できたと思います。全体司会や受付には学生も活躍し、教育の成果を披露しつつ、今後の学科の展開を探る良い機会となりました。



会場:ユージニア館NDホール  
参加人数:120名

### 大学院人間文化研究科人間文化専攻・人間文化学科主催

## 「文化の航跡研究会」実施報告

開催日:2019年2月13日(水)

人間文化学科(2019年度より「国際日本文化学科」に名称変更)では、毎年、学科教員の研究や学生の学びを紹介する「文化の航跡ブックレット」を刊行しています。第15号『教育実習を語り尽くすー教えることと学ぶことーのハザマでー』には、中等免許取得

をめざす学生たちが、自らの教育実習を振り返った「語り」が掲載されています。本年度の「文化の航跡研究会」は、ブックレット第15号の内容紹介



を目的として、「教職実践演習における学生の学びー教育実習を振り返る言葉を紐解く」というタイトルのもと実施しました。具体的には、学生の語りから、教育実習で直面する「困りごと」や、教育実習で「学べたこと」「学べなかったこと」などを紹介しながら、学生たちの教育観や教師観の変化における「教育実習という経験」の意味について検討しました。報告者の発表を受けて、個別的な経験としての教育実習を、言語化し他者と共有することの可能性や困難などが議論されました。

(人間文化学科 講師 辻 敦子)

会場:ソフィア館S303教室  
参加人数:10名

### 京都ノートルダム女子大学大学院人間文化研究科 生活福祉文化専攻公開講座

## 「家族まるごと支援の精神保健医療福祉を目指して—うつ病や統合失調症の親を持つ子どもたちの願いにも応えられる精神保健医療福祉にしていこうために—」実施報告

開催日:2018年11月24日(土)

2018年11月24日(土)、本学キャロライン館アセンブリホールにおいて、本学大学院人間文化研究科生活福祉文化専攻公開講座を開催いたしました。テーマは「家族まるごと支援の精神保健医療福祉をめざして—うつ病や統合失調症の親を持つ子どもたちの願いにも応えられる精神保健医療福祉にしていこうために—」とし、うつ病や統合失調症の親を持つ子どもに焦点をあて、その子どもたちの直面している悩みや困難、求められる支援について講演させていただきました。この公開講座にはNPO法人ぶるすあるは様と公益社団法人京都精神保健福祉推進家族会連合会様より後援を頂戴し、関東や北陸、関西一円の支援者の方々を中心に41名が集まれ、参加した皆さまと子どもたちに求められる支援を共有することができました。

(人間文化研究科生活福祉文化専攻 佐藤 純)



会場:キャロライン館アセンブリホール  
参加人数:41名

### 英語英文学科主催

## 第8回英語スピーチコンテスト 実施報告

開催日:2018年10月28日(日)



The 8th Kyoto Notre Dame University English Speech Contest was held on Sunday, October 28, 2018. This year's contest continues a tradition that began as part of the celebrations for KNDU's 50th Anniversary in 2011. We invited applications from high school students from around the country to deliver original and well-crafted speeches on any topic of their choice. This year we received a record number of thirty-seven applications, and after evaluating the candidates we were able to narrow the field to ten contestants.

The contest took place on the final day of the University Festival (ND祭) in ND Hall. We had a good

turnout of audience members to listen to ten very strong speeches. The judging panel comprised three native-speaking English teachers, who all observed that the contestants' speeches were of a very high quality, making it difficult to choose only three winners. In the end, the First Prize was awarded to Ms. Rin Ito, a first-year student from Josei Gakuen Senior High School in Osaka, for her speech entitled "Poverty in the Philippines," which offered ways to help street children in

that country. The Honor Prize went to Ms. Emiri Sugata from Kobe Municipal Fukiai High School for her speech, "Do You Often Show Your Love?" Ms. Rinka Kanai from Notre Dame Jogakuin Senior High School received the Special Prize for her speech called "Tourism in Japan: Blessing or Curse?"

All of the speakers should be commended for their efforts. We look forward to another strong group of competitors at the next contest.

会場:ユージニア館NDホール  
出場人数:10名  
参加人数:約50名

### 主催:図書館情報センター委員会

## 研究プロジェクト発表会2019実施報告

開催日:2019年3月6日(水)

2019年3月6日(水)、「研究プロジェクト発表会2019」を開催いたしました。一般の方、教職員など、のべ62名の参加者がありました。

本発表会は、京都ノートルダム女子大学研究助成の研究成果を発表することを目的に毎年開催しています。今回は、研究助成の採択者に加え、共同研究者および同テーマを研究する学外の研究者の発表を交えることで、より多角的な議論が実現しました。



第1部は、「幕末明治期の西書翻訳と唐通事」と題し、朱鳳教授(人間文化学科)、愛知大学塩山正純教授、関西大学奥村佳代子教授の発表が行われました。

第2部は「体内を巡る蟲と風 一仏教経典より」と題し、ロバート・クリツァー教授(英語英文学科)、東洋大学石川美恵非常勤講師の発表が行われました。

いずれの発表も最新の研究成果を紹介しつつ、専門外の聴衆向けの解説が加えられ、大変興味深いものでした。



## 「京都いのちの日シンポジウム」に本学教授・学部生が出演

開催日:2019年3月1日(金)

自殺対策強化月間の2019年3月1日(金)、京都市中京区 ウィングス京都 イベントホールにて「京都いのちの日シンポジウム」が開催され、後半のパネルディスカッションでは河瀬雅紀教授(現代人間学部心理学科)がコーディネーターとして、心理学科3年次生の屋我優奈さんがパネリストとして登壇しました。

最初に、精神科医の大野裕氏により基調講演が行われ、どうせ、やっぱり、何をやってもなど自分の決めつけ言葉に気づいたり、行動を変えることから気分を変える方法など、ところが元気になる具体的な話がありました。



プログラムの後半では、自殺対策について「大学生の私たちが皆さんに知ってほしいいのちのハナシ」と題して2人の大学生が発表しました。屋我さんからは、自殺に至ってしまう人の心理状態や親しい人が苦しんでいる時のサポートについて説明がありました。そしてディスカッションでは、SNSを利用した支援など最近の話題も挙げながら終始和やかな雰囲気で行われ、会場からは大学生からのメッセージが印象深かったなどの感想が寄せられました。



## 京あるきin東京2019「京都の大学による特別講座」

開催日:2019年3月2日(土)

京都創生PR事業「京あるきin東京」のイベントの一つである「京都の大学による特別講座」は、本年度、京都の11大学が参加し、株式会社ジェイアール東日本企画(東京都渋谷区)を会場として行われました。本学は2013年から参加しています。

本学は、3月2日(土)に鳥居本幸代名誉教授による「平安貴族の男性ファッションー即位の年を迎えてー」をテーマとして講座を行いました。様々な衣装がスクリーンに映し出され、67名の来場者は熱心に受講されていました。

平安貴族のファッションは、儀式用の晴装束と、日常着としての褌装束(けのしょうそく)に大別されます。男性の晴装束においては、大宝律令以来の文官・武官の別、さらに平安初期に生まれた昇殿制による公卿や殿上人と地下の区別などの決まり事がありました。平安時代にタイム・スリップして、彼らの衣生活を垣間見ましょう。

〈講義内容の概要(京あるきin東京HPより)〉

## 2019年度入学者予定者向け「入学前教育講座」実施報告

開催日:2019年2月12日(火)・13日(水)

### 8つの高校からの入学予定者38名が参加して6つの講義と卒業研究発表会を受講!

2019年度入学予定者のうち、本学の内部校、高大連携校からの入学予定者を対象とした「入学前教育講座」が開かれ、38名が参加しました。一日目は、徳と知教育センター長の中村久美教授(副学長)の開講の挨拶に続き、青木加奈子講師(福祉生活デザイン学科)が「学ぶ姿勢と大学活用法」、高井直美教授(心理学科)が「学問的ものの見方・考え方」、図書館司書の方々が「図書館の活用法」の講義を実施しました。

二日目の午前中は、優れた卒業研究をした4年次生7名が、各自の卒業研究(内容は表参照)を発表し、発表後には入学予定者を食堂にエスコートし、大学生活の質問に答えてくれました。

卒業研究発表会

発表者	発表タイトル
【英語英文学科代表】 濱本 恵梨子さん	「Perceived Intent Behind Self-deprecating Presentation」
【人間文化学科代表】 小林 愛美さん	「現代日本語彙「マジ」「ガチ」の意味変遷」
【生活福祉文化学科・福祉分野代表】 八木 美菜子さん	「障害児と母親の障害受容と成長を促す支援について」
【生活福祉文化学科・生活分野代表】 前野 加奈さん	「果物アレルギーの認知と実態」
【生活福祉文化学科・保育分野代表】 中野 さつきさん	「女子大生の食生活の実態とその意識」
【心理学科・学校分野代表】 濱野 紗衣さん	「小学校プログラミング教育の実践と評価」
【心理学科・心理分野代表】 和田 円さん	「女子大学生の友人関係とLINEでのやりとりにおけるストレスに関する研究」



中村久美副学長による開講の挨拶



卒業研究発表中



図書館ラーニングcommonsにて

午後には、辻敦子講師(人間文化学科)が「大学生のためのノート・レポートの書き方」の授業を、Katy Simpson嘱託講師(英語英文学科)が「英語に親しむ」と題した英語での楽しい授業を実施しました。英語での自己紹介を含むコミュニケーション活動を通して新しい友達ができたと受講生からは、英語の授業を一日目を実施するよりよいのではないかと、建設的な意見も出ました。(徳と知教育センター 教授 吉田 智子)

会場:ユー・ジーニア館 E402教室、図書館、ラーニングcommons  
参加人数:38名

## ノートルダムクリスマス

開催日:2018年12月20日(木)

2018年12月20日(木)午後、本学ユニソン会館大ホールにおいて、ノートルダム学院小学校、中学高等学校、大学の三校合同によるノートルダムクリスマスが開催されました。イエス・キリスト降誕の物語をタブロー(聖劇)で再現するもので、女学院オーケストラクラブや大学ハンドベル部の演奏が流れる中、会場は厳かな雰囲気になりました。キャンドルサービスでは、舞台上の大天使から参加者のろうそくへ次々と点火され、大変温かく幻想的な光景となりました。大塚乾隆神父様のお話を通して一人ひとりが静かにクリスマスの意味に思いを巡らせ、キリストの誕生を祝う素晴らしい時間をともにすることができました。また、ユニソン会館1階ではチャリティーバザーも同時開催され、非常に多くのお客様で賑わいました。



## 第55回卒業式・第16回学位授与式

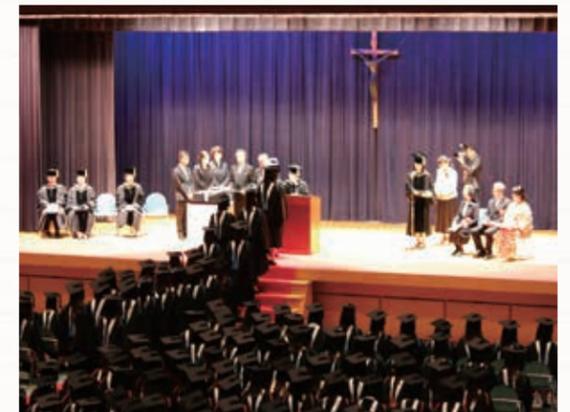
開催日:2019年3月9日(土)

2019年3月9日(土)、春を感じる暖かな日に、第55回卒業式第16回学位授与式が執り行われました。

卒業生・修了生たちは皆、キャップとガウンに身を包み、凛とした表情で式に臨んでいました。眞田雅子学長から一人ひとりに証書が手渡された後、式辞が述べられ、3名の来賓の方々からは祝辞が贈られました。

引き続き、カトリック京都司教区パウロ大塚喜直司教様の司式により執り行われたみことばの祭儀では、参列者全員が卒業生の前途に神の祝福が与えられるように祈りを捧げ、厳かな雰囲気の中、式典は無事に終了しました。

学部生234名、大学院生11名が卒業し、本学の卒業生ならびに修了生の総数は15,647名となりました。



## 教員著作



こども教育学科 准教授 太田 容次

障害児保育: 障害のある子どもから考える教育・保育 乳幼児 教育・保育シリーズ  
編著者: 久保山茂樹, 小田豊  
出版者: 光生館 2018/10  
ISBN: 9784332701934

障害の早期発見、早期支援が謳われていますが、保育者が子どもの心持を理解し、子どもが動きたくなくなるような関わりはむしろ、質の高い保育を大切にすることが、障害の有無に関わらず全ての子どもへの保育を豊かにします。こうした保育を実践するために必要な情報をまとめた本書の「第3章 障害に関する基礎知識」を担当執筆しました。特別支援教育の対象となる障害の種類とそのとらえ方について、幼児等に見られる行動等を例示することで、学生や教員等に障害の特性および心身の発達をわかりやすく示しました。

## 退職の辞



前 人間文化学部英語英文学科  
教授

小林 順

先の世紀70年代、正確には1976年、当時の呼称である「ノートルダム女子大学」に就職することになった。それ以来43年経ち、間もなく、2019年3月31日、今日の呼称である「京都ノートルダム女子大学」を退職することになる。ほぼ半世紀である。じつにあっけない時の経過であった。小学校に入学(1955年)して以来、64年の歳月は学校の内に過ぎ去った。生徒であり、学生であり、教師であり、ついに、「卒業」となる。そうであれば、社会に船出である。64年の学校生活の挙句に目度く社会人となるのである。それを叶えさせてくださった皆様に御礼申し上げます。すがすがしい年月でした。これも皆様のおかげであります。



前 人間文化学部人間文化学科  
教授

長沼 光彦

「おはようございます。」「こんにちは。」京都ノートルダム女子大学は、あいさつから一日がはじまります。中には、声を出すのが苦手という学生さんもありますが、軽く会釈をします。堅苦しいことをしようとしているわけではなく、自然とあいさつが交わされています。あいさつから一日がはじまると、気持ちが周囲に向けて動いていきます。あいさつは、心のスイッチなのでしょう。そんな雰囲気のある大学で、大学教員の仕事を始めることができたのは、幸いです。何ごとにも前向きに取り組むことができました。取り組んでいくと、自分の行動の範囲も広がりました。京都を散策して、寺社の成り立ちを調べるのも、その広がりのひとつです。あらためて私の方からあいさつをいたします。「ありがとうございます。」

## 2019年度公開講座 予定

2019年度は、『京でつながる人・文化・歴史』を全体のテーマとして下記の公開講座を開催します。みなさまのご参加をお待ちしております。会場はいずれも本学ユーニオン館NDホールです。

・5月25日(土) 14:00~15:30(開場:13:30)

『『徒然草』を楽しむ—ユマニスト兼好の人間洞察』

講師: 渡邊 春美 (現代人間学部子ども教育学科 特任教授)

・6月22日(土) 13:30~15:30(開場:13:00)

『小泉八雲 多文化の協奏—KWAIDANと怪談』

講師: 小泉 凡 氏 (小泉八雲記念館館長、島根県立大学短期大学部名誉教授)  
堀 勝博 (国際言語文化学部国際日本文化学科 教授)  
大川 淳 (国際言語文化学部英語英文学科 准教授)

・10月5日(土) 13:30~15:00 (開場:13:00)

『京町屋と人のこころのかかわり』

講師: 空間 美智子 (現代人間学部心理学科 准教授) ほか

・11月16日(土) 14:00~

『家族の支援について(仮)』

講師: 青木 加奈子 (現代人間学部福祉生活デザイン学科 准教授) ほか



## 第57回 ND祭 テーマ「ときめき」を終えて

開催日: 2018年10月27日(土)・28日(日)

2018年度のND祭は、綺麗な青空が顔を出し、最高のND祭日和となりました。

1日目は志尊淳さんをお迎えしてトークショーをおこないました。終始会場が盛り上がり、お越しいただいた皆さまに楽しんでいただけたと思います。

2日目はアキナさん・からし蓮根さんのお笑いライブ、からし蓮根さん司会のピンゴ大会をおこないました。会場は笑い声が絶えないひとときになりました。

両日通して多くの団体による模擬店や展示、発表もおこなわれ、小

さな発見などから「ときめき」を少しでも感じていただけたのではないのでしょうか。

ND祭を通して、クラブや教職員の皆さま、協賛して下さった企業や地域の皆さま、そして来場して下さった皆さまのご協力があったからこそ開催できているのだと、あらためて感じました。実行委員一同心より感謝しております。2019年度はこれまでの経験を生かし、さらに皆様楽しんでいただけるND祭を開催できるよう取り組んで参りますので、これからもご支援いただきますようお願い申し上げます。

(ND祭実行委員会 前委員長 生活福祉文化学科4年次生 池尻 琴未)



## カトリック女子大学総合スポーツ競技大会に参加して

開催日: 2018年12月15日(土)・16日(日)

第18回カトリック女子大学総合スポーツ競技大会が2018年12月15日(土)・16日(日)の2日間にわたり、ノートルダム清心女子大学にて開催されました。ノートルダム清心女子大学、聖心女子大学、白百合女子大学、清泉女子大学、そして本学の計5校が参加し、バスケットボール、バレーボール、硬式テニス、バドミントンの4つの競技で試合がおこなわれました。

私はバレーボール部として本大会に毎年参加しています。今回3回目の出場となり、初めてバレーボールの種目別で優勝することができました。総合成績は3位でしたが、参加した学生一人ひとりが精一杯自分の力を出し切ったと思います。2019年度の大会は本学での開催になりますので総合優勝をめざして大学全体で盛り上げていきたいと考えています。

最後になりましたが、本大会の準備や引率・応援して下さった教職員、ならび関係者の皆さま、今大会に参加できたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

(バレーボール部前部長 心理学科4年次生 嶋田 穂波)



## リーダーズセミナーを終えて

開催日:2019年2月7日(木)・8日(金)

リーダーズセミナーでは毎年、代わりをしたクラブの新幹部を対象に今後のクラブ運営、会計処理の方法、クラブの活性化などに直接繋がる研修を行っています。

今年は1日目に、自分の所属するクラブ以外の人も仲を深めるために、昨年度までとは違ったアクティビティーを取り入れ、グループに分かれ、学内・クラブの魅力を感じるタイトルと写真を撮ってきてもらうフォトセッションを行いました。

また、2日目の分科会では「新入生勧誘方法」をテーマにグループで

具体的な案を考えました。どのグループも見通しを持った具体的なアイデアを出し合うことができ、お互いに良い刺激となったのではないのでしょうか。

上述以外に学生委員の先生方、昨年度部長の先輩方、左京消防署の方などにご協力いただいた研修からも、この2日間で多くの学びや気づきがあったと思います。今後の新幹部の活躍に期待するとともに、私も総クラブ長としてさらなるクラブの活性化に努めてまいります。

(総クラブ長 英語英文学科3年次生 徳永 樹葉)



## 生活福祉文化学科 保育士養成課程 第9回卒業発表会

開催日:2019年2月22日(金)



保育士養成課程の4年次生が、2019年2月22日(金)に、地域の保育園の子どもたちや教職員の方を招いて、第9回卒業発表会を開催いたしました。

最初に、全員でリズム体操「エビカニクス」を踊り、よく知られている昔話「さるかにがっせん」を題材にしたパネルシアターを行い、子ども達に楽しんでもらいました。その後は、子どもたちが大好きな絵本「はらぺこあおむし」と「ぐりとぐら」を題材に、ペープサートや、学生が実際に演じるなど、アレンジした作品を披露しました。合間に、手遊びやクイズを行い、最後は、皆で「にんげんっていいな」を合唱しました。約1時間の発表会でしたが、子どもたちは、最後まで楽しんでくれたようです。

学生たちは就職活動や卒業論文作成、就職先の研修などがあり、準備や練習する時間の確保など、大変なこともありましたが、皆で意見を出し合い助け合って、子どもたちが喜んでくれる発表会を企画・実践することができました。

## 平成30年度成績優秀者表彰・学生表彰

開催日:2019年3月8日(金)

2019年3月8日(金)NDホールにおいて、第55回卒業成績優秀者ならびに2018年度学長奨励賞の表彰式が執り行われました。

成績優秀者は、学生として品行方正で学業優秀な者(各学科から1名)を表彰します。学長奨励賞は、学術、芸術、課外活動、社会活動等の諸活動について今後への期待や激励の意味を込めて表彰するものです。

多くの教職員も駆けつけた表彰式では、眞田雅子学長から賞状が授与され、今後の活躍を期待する激励の言葉が贈られました。

表彰を受けた学生は次のとおりです。

### 【成績優秀者(2018年度4年次生)】

人間文化学部英語英文学科	谷口 菜奈子
人間文化学部人間文化学科	竹花 安純
生活福祉文化学部生活福祉文化学科	山本 真琴
心理学部心理学科	福嶋 祐香

### 【学長奨励賞】

#### <団体>

- バレーボール部
- 京炎そでふれ!輪舞曲
- 酒井ゼミ 地域協働ふるじえくと

#### <個人>

- 人間文化学部人間文化学科 小林 愛美



## 2018年度 キャリア形成ゼミ

社会人として必要な力を身につけるキャリア形成実践科目「キャリア形成ゼミ」。7年目となる今年度は、4つのゼミがそれぞれのフィールドでおよそ1年にわたり活動してきました。

### 旅行プランナーゼミ (提携先:㈱JTB 京都支店)

旅行業界の基礎知識を学び、企画担当者として旅行の企画・商品化・販売に挑戦しました。「誰の、どんなニーズに価値を提供したいか」にこだわり、【中高生必見! 京都の現役大学生と巡る京都観光ツアー〜足先に大学生気分を味わおう〜】を企画。3月のツアー催行を目指して取り組みました。

打合せ風景

### 町づくりプランナーゼミ (提携先:左京区社会福祉協議会)

地域の人を救うのは地域のカ...地域の人をつなぐためのイベントを企画しました。ゼミ生がそれぞれの得意分野を生かし、ヨガやハンドベル演奏などを企画しました。地域の高齢者と大学生がつながる楽しいひとときを過ごしていただきました。

イベント写真

### ブライダル業界ゼミ (提携先:㈱コミュニケーション)

業界の知識を身につけた上で、学生ならではの新しい価値観が伝わる模擬挙式を企画しました。「つながり」をテーマに、リングリレーなどのゲスト参加型の演出を考案。オリジナル模擬挙式は、ND祭にて執り行われ、多くの方にご来場いただきました。

模擬挙式写真

### 食品開発・販売ゼミ (提携先:㈱minitts 佰食屋)

今話題の【佰食屋】と、2018年度限定のコラボゼミです。京の台所・錦市場で学生が商品企画・販売。「本当に売れるものとは?集客はどうする?」など、市場調査や商品開発、試作・販売を通して、楽しみながらノウハウを学びました。

「完売」写真

## グローバル英語コース留学・セメスター認定留学・韓国カトリック大学交換留学を終えて

2018年度後期にグローバル英語コース留学制度ならびにセメスター認定留学生制度、韓国カトリック大学交換留学制度による留学から帰国した学生たちが自分たちの留学生活について報告してくれました。

前列一番左が山本さん



### 山本 くるみ(やまもと くるみ)さん

英語英文学科3年次生

留学先 ハワイ大学マノア校(アメリカ)  
留学制度 グローバル英語コース留学  
留学期間 2018年9月~2019年3月

留学前の私は消極的で、自ら行動を起こす事が苦手でした。留学生活最初の3ヶ月間はその姿勢が変わることはなく、英語を話そうとしなかったため、何か身についたという実感は得られませんでした。

そうしているうちに前半が終わり、冬休みになる頃に出雲大社(ハワイ分社)で巫女としてボランティアをさせていただけることになりました。初詣時期の参拝客は口コ(ハワイ生まれのハワイ育ちの人)の方が多く、日本語が分からない人と英語で会話する機会がたくさんありました。上手く伝わらないと落ち込むこともありましたが、それ以上に「日本語でも難しい接客を英語でやり遂げた」という思いが自分自身に対する自信に繋がり、日本人以外のクラスメイトに自ら話しかけることができるようになりました。

とても小さなことですが、今までの消極的な私からは考えられない大きな前進です。留学には語学力だけを求めていましたが、英語以外の学びや身につけたものも多く、自分の気持ちと行動次第で得られるものは無限にあるんだと思いました。

### 岩淵 友海(いわぶち ゆみ)さん

英語英文学科3年次生

留学先 マッコリー大学(オーストラリア)  
留学制度 グローバル英語コース留学  
留学期間 2018年8月~2019年2月

前列左から3人目が岩淵さん



私は2018年8月から2019年2月までの半年間、オーストラリアのマッコリー大学に留学していました。今回オーストラリアを留学先として選んだ理由は、以前オーストラリアに来た経験があり、治安の良さや人々の優しさに魅力を感じたからです。また、マッコリー大学は言語学において非常に教育水準が高く、より良い教育を受けられると感じたため、留学先を選びました。

初めのブロックでは、G4と呼ばれる基本的な文法などを学ぶクラスから始め、教科書に沿って勉強を進めていました。最終的には、A2というよりアカデミックな内容を学ぶクラスに入り、ライティングスキルを中心に学習しました。留学当初は日本人がクラスの半分くらいを占めていましたが、レベルが上がるごとに日本人が減り、最終的には日本人は私一人になりました。そこでは英語でコミュニケーションを取ることが必須になり、色々な国籍の友達ができ、最高の経験になりました。

喜びだけでなく挫折を感じることもありましたが、今では全てが大切な思い出になりました。マッコリー大学へ留学して、本当に良かったと自信を持って言えます。

一番左が長谷川さん



### 長谷川 樹里(はせがわ じゅり)さん

英語英文学科3年次生

留学先 オークランド大学(ニュージーランド)  
留学制度 セメスター認定留学  
留学期間 2018年3月~2019年2月

オークランド大学での1年間の留学は、私にとってかけがえのない日々となりました。英語力の向上のみならず、留学しなければ交流することがなかったであろう国の人たちとの関わり、またそれを通じて日本の文化との違いを発見したりと、たくさんの経験ができました。

初めの頃は日本で何年も英語を学んでいるのに、伝えたいことを口に出そうとしてもスムーズに言葉が出てこないという点に苦労しました。しかし、クラスが多国籍な学生たちで構成されていることもあり、自然と英語での会話も増え、次第に英語での会話を全く苦に感じなくなりました。

友だちもできて、クラス内外で交流をするうちに、お互いの国の事情や文化等についても深く話すようになり、彼らは自分の国のことをとてもよく知っていることがわかりました。

振り返ってみれば留学での思い出は楽しいことばかりで、英語や他国についてだけでなく、自分の国である日本のことを学ぶとても良い機会にもなりました。

一番左が伊藤さん



### 伊藤 里紗(いとう りさ)さん

英語英文学科3年次生

留学先 韓国カトリック大学(韓国)  
留学制度 韓国カトリック大学交換留学  
留学期間 2018年2月~2018年12月

私は2018年2月から約1年間韓国カトリック大学に交換留学しました。韓国へは、旅行で何度も行った経験があり、留学前の不安などはありませんでした。しかし、実際に生活してみると分からないことが沢山あり、自分の語学力の足りなさが身にしみることもありました。

そのため、留学に行ってしまうのは生活環境の違いなどからストレスや落ち込むことも多く、なかなか想像していた明るい留学生活ではありませんでした。

しかし、トウミ(留学のサポートしてくれる韓国人学生)のおかげで、韓国人学生との交流の機会が増え、私たちがあまり行かないような場所に連れて行ってくれたり、友だちを紹介してくれたり、いろんな経験をさせてもらいました。留学が終わる頃にはかなり仲良くなって日本にも遊びに来てくれたりもしました。

韓国語の上達には、語学堂に通うだけではなく、実際に学生と話したりお店で店員さんと何気ない会話をするのが一番大きかったです。また、語学堂に通うことでいろんな国の人と仲良くなって、お互いの言語や国について知る良い機会となりました。

これからも韓国語をレベルアップし続けたいと思います。

## 2018年度 春期海外研修が実施されました。

2018年度 春期海外研修として、3つの研修が実施されました。それぞれの研修に参加した学生は充実した時間を過ごすことができました。

### 1) アメリカ英語研修(ハワイ大学)

2019年2月3日(日)から2月24日(日)までの22日間にわたり、アメリカ ハワイのハワイ大学において実施されたアメリカ英語研修に3名(英語英文学科1名、人間文化学科2名)が参加し、無事に帰国しました。参加者は、授業やフィールドワーク、ホームステイを通じて、英語を上達させるとともにハワイの自然、歴史、文化、生活習慣等についても学ぶことができました。



### 2) 海外インターンシップ(オーストラリア)(ブリスベン)

2019年2月9日(土)から3月2日(土)までの22日間にわたり、オーストラリアのブリスベンの高校でインターンシップ(就業体験)が実施されました。本学から1名(英語英文学科)が参加し、英語での学校教育体験やホームステイを通じて、オーストラリアでの教育方法について学び、コミュニケーション能力、積極性や責任感を養うことができました。



### 3) 海外インターンシップ(アメリカ)(シリコンバレー)

2019年2月10日(日)から3月3日(日)までの22日間にわたり、アメリカのカリフォルニア州シリコンバレーにある貿易会社や飲食店の経営会社でインターンシップ(就業体験)が実施されました。本学から2名(英語英文学科)が参加し、英語を使って貿易事務、マーケティングやシステム管理などの一連の業務やホームステイでの生活を通じて、ビジネスに必要な会話力、柔軟な対応力や積極的な行動力を身につけることができました。



## キャリアセンター お知らせ

昨年は大学生のみならずにとって大きなニュースがありました。経団連 中西会長の発言に始まる一連の報道の中で、就職活動というものが、いかに世間から関心を持たれているか、改めて感じた方も多いことでしょう。大学を卒業して、誰かの役に立つ活動をする。このことは、企業に就職しても、国際ボランティアなどに従事しても、社会の動きとは切り離せないものです。

自分がどのように社会で活躍するか、迷ったり不安に感じた時は、ぜひ

キャリアセンターにお越しください。これといった相談でなくとも、何かヒントをもらえるはずですよ。

キャリアセンターでは、今年度もキャリア形成ゼミ・インターンシップといった授業や各種対策講座などで、みなさんのサポートをしていきます。申込のチャンスを逃さないよう、センターからのお知らせにご注目ください。

キャリアセンターからのお知らせは、学内の掲示板やWEBサイト、Campusmateのメールやtwitterでお知らせしています。

キャリアセンター開室時間：8時45分～18時15分(授業開講日の平日(定期閉室時を除く))

キャリアセンターHPアドレス <https://www.notredame.ac.jp/careercenter/>

キャリアセンターtwitter [https://twitter.com/nd\\_career](https://twitter.com/nd_career)



## 図書館情報センター 平成30年度私立大学研究設備整備費等補助金に、ケイト・グリーンウェイの「アルマナック」初版 全14巻が採択されました。

このコレクションは、グリーンウェイが1882年から一時の中断を除いて刊行し続けた「アルマナック」(暦)シリーズの初版完全揃いです。読み捨てられることの多い暦本が全巻揃っていることは珍しく、社会学的・教育学的視点からみた子どもの読書活動およびその支援に関する研究を進めるほか、西洋美術史、博物館学、出版文化史など、幅広い研究に用いることができる資料です。本学で既に所蔵している多数の絵本に関わり、その前史を含めた研究を行うものでもあります。今後、展示を行い、学内外に広く公開します。



## 図書館情報センター 全国巡回展「タータン展」に本学所蔵、ジョン・ケイの作品を展出

「タータン」をテーマとした展覧会が、2018年9月の神戸ファッション美術館を皮切りに、全国5つの会場を巡回し開催されており、本学が所蔵する資料、ジョン・ケイの銅版画など43点も展示されています。

タータンの多彩な色彩や洗練されたデザインはもちろんのこと、タータンにまつわる美術作品や資料を通じて、多角的な視点からタータンが持つ意味や魅力、可能性を探る展覧会です。その中でタータンにまつわるス



ジョン・ケイ  
バグパイパー アーチボルド・マッカーサー  
1810年 紙/銅板 26.4×20.8cm



コットランドの歴史を本学所蔵のジョン・ケイの銅版画等を通して紹介しています。19世紀のエディンバラで活躍した銅版画家ジョン・ケイとその作品は、これまで日本の美術館ではほとんど紹介されたことがありませんでした。本学にとっても蔵書を公開する大変貴重な機会ととらえています。

## 【タータン展の巡回予定】

2018年9月15日～11月11日 神戸ファッション美術館【終了】  
2018年12月8日～2019年2月17日 三鷹市美術ギャラリー【終了】  
2019年4月13日～5月26日 岩手県立美術館  
2019年9月21日～11月4日 久留米市立美術館  
2019年12月14日～2020年3月1日 新潟万代島美術館

## 参考資料

「タータン：伝統と革新のデザイン」 廣瀬 歩編 青幻舎 2018.9  
「古都エディンバラ騎人伝：ジョン・ケイが描いたスコットランド啓蒙の時代」 服部 昭郎著 昭和堂 2012.3  
「銅版画スコットランド歴史紀行」 服部 昭郎著 松香堂書店 2017.10

京都ノートルダム女子大学図書館情報センター/図書館@KNDU\_lib  
京都ノートルダム女子大学図書館情報センター/図書館の公式アカウントです。  
Twitterで図書館の開館日程や新着資料の紹介など、ほんわりつぶやいています。

## 国際教育課

## 行事のご報告

## 1)2018年度 日本語教育実習を香港で実施しました。

2019年2月21日(木)から3月4日(月)までの12日間にわたり、中国の香港中文大学 專業進修学院において日本語教育実習が実施されました。堀勝博教授(人間文化学科)の引率のもと6名の学生(英語英文学科2名、人間文化学科4名)が参加しました。参加者は、初級～上級の日本語クラスと文化紹介クラスでの教育実習や日本語専門学校、中学、香港YMCA、マカオの旅遊学院等で学生と交流するなど多彩な経験をする事ができました。



## 2)2018年度外国人留学生と日本人学生の交流のための日帰りツアーを実施しました。

2018年11月3日(土)に本学同窓会主催の外国人留学生と日本人学生のための日帰りツアー「信楽陶芸体験と近江牛ランチ」が実施され、留学生10名と日本人学生8名の計18名が参加しました。

紅葉の美しい季節に陶芸の町、滋賀県甲賀市信楽町で信楽焼のお茶碗や湯飲みを作って、美味しい近江牛のランチを楽しみました。

今回は特別に日本人学生も参加でき、留学生との相互理解を深めました。また、同窓会の方々と将来について語り合い、交流を深める良い機会となりました。



信楽焼の体験工房の様子

## 3)2018年度外国人留学生研究発表会が開催されました。

2018年12月19日(水)にマリア館ガイスラーホールにて、「外国人留学生研究発表会」が開催されました。

発表者は高岸雅子先生の「日本語表現II」を履修している外国人留学生10名で、「外国人留学生から見た日本。アジアの国との異文化間理解。」をテーマに研究を行った結果を発表しました。個性豊かなテーマを丁寧な日本語で説明していました。

## 【発表題目】

- 1.既婚女性の家事に対する意識調査  
～日本と中国を比較して～
- 2.大学生の恋人を選択する傾向：  
外見か中身か～日本人と香港人を比較して～
- 3.日本の若者の海外旅行についての意欲
- 4.日本と中国の男女の割り勘意識についての調査
- 5.高齢者の運転について
- 6.日本と中国の民族服について
- 7.お彼岸に対する日本の若者の意識調査



留学生発表会の様子

## 教務課

## 無理しない健康づくりに納得—大学リレー講座

大学リレー講座「転ばぬ先の杖は、転ぶこと!?～これからの健康づくり～(講師：住本純講師(こども教育学科))」を2019年1月12日(土)にキャンパスプラザ京都で実施、166名の方が参加しました。講座では実際に体を動かしながら「蛇口をひねる」など日常生活での動作の積み重ねが運動能力を支えているメカニズムなどを解説。受講者からは「受講者参加型でたいへん良かった」「杖の意味がよく分かった」などの声が寄せられました。



## 教務課

## シラバスがスマホ対応に

2019年度からシラバスシステムが刷新、スマートフォンで読めるようになりました。シラバスにはその授業を受講することで「何ができるようになるか」を「見える化」する「ルーブリック」を導入し、学生が主体的に考えて学ぶことを後押ししています。

<https://notredame.cloud-syllabus.com/>

研究・情報推進課

『京都ノートルダム女子大学研究紀要』第49号が発刊されました

京都ノートルダム女子大学における研究・教育成果を発表する学術研究誌『京都ノートルダム女子大学研究紀要』第49号が発刊されました。第49号執筆者とタイトルは下のとおりです。冊子は本学図書館にて閲覧可能です。冊子の入手をご希望の方は研究・情報推進課(TEL:075-706-3789)までご連絡ください。また、京都ノートルダム女子大学学術リポジトリにより、学内外にWeb公開します。(京都ノートルダム女子大学学術リポジトリ「のあ」<https://notredame.repo.nii.ac.jp/>)



No	タイトル	執筆者	種別
1	80歳以上独居女性高齢者の食品摂取状況とその課題 —簡易型自記式食事歴法質問票によるケーススタディー—	加藤 佐千子、長田 久雄	学術論文
2	食事動作から食事マナーを考える—「嫌い箸」を例として—	廣瀬 直哉	学術論文
3	講義型授業における「問い」提示および予習に関する学習有効性評価尺度の作成	松島 るみ、尾崎 仁美	学術論文
4	国語学習個体史の研究—2学年時の学習者Mの「書くこと」を中心に—	渡邊 春美	学術論文
5	属性叙述受動文の描く世界	三原 健一	学術論文
6	日本版精神障害者訪問家族支援研修プログラムの効果的実施に関する研究	佐藤 純	研究ノート
7	障害者支援施設における高齢知的障害者の生活支援	矢島 雅子	研究ノート
8	フランス王立絵画彫刻アカデミー議事録の検討—宗教画にまつわる学生教育について	吉田 朋子	研究ノート
9	大和田建樹『明治文学史』と歴史教育	長沼 光彦	学術論文
10	國學院大學河野省三博士記念文庫蔵『三社燈籠萬人講』—解題と翻刻—	柴田 周二、義田 孝裕	資料

(掲載順)  
※9,10は縦書き

研究・情報推進課

2018(平成30)年度「全学FD教員研修会」実施報告

2019年2月13日(水)FD委員会主催「2018(平成30)年度全学FD教員研修会」が開催され、専任教員51名、職員5名が参加しました。今回の研修会は、「学習評価の基礎～教員と学生にとって魅力ある

授業を展開するために」と題し、大阪大学全学教育推進機構特任講師 浦田悠先生にご講演いただきました。授業における学習目標の意義や適切な評価方法の設計について、分かりやすく解説していただきました。

「全学FD教員研修会」をはじめとする2018年度FD活動については、「2018(平成30)年度FD報告書」にまとめ、本学のホームページでも公開します。



行事予定

4月	3月29日(金) 1日(月) 2日(火) 2日(火) 3日(水) 3日(水) 3日(水) 4日(木) 4日(木) 4日(木) 4日(木) 5日(金) 5日(金) 6日(土) 8日(月) 9日(火) 9日(火) 10日(水) 10日(水) 10日(水) 11日(木) 12日(金) 16日(火) 16日(火) 17日(水) 17日(水) 26日(金) 28日(日)	編入生オリエンテーション、外国人留学生オリエンテーション(午後) 【全】①オリエンテーション 【全】①入学式 【院】大学院オリエンテーション 【全】①司書課程オリエンテーション 【全】②オリエンテーション 【全】②③④日本学生支援機構奨学金在学採用説明会 【全】③オリエンテーション 【全】③④日本語教員養成課程オリエンテーション 【全】②③④日本学生支援機構奨学金在学採用説明会 【全】④オリエンテーション 【全】①日本学生支援機構奨学金予約採用者説明会 【全】①健康診断 クラブ紹介・オープンデー 前期授業開始日 履修検討(登録修正・仮登録科目2次募集)期間 海外研修説明会 ①英語実力テスト(第1グループ) 【全】②③キャリア形成ゼミ説明会 【全】②③④インターンシップ(学内)説明会 【全】②③④インターンシップ(大学コンソーシアム京都)説明会 (授業なし) 【全】①フレッシュマンセミナー 仮登録科目3次募集 ①英語実力テスト(第2グループ) 海外研修参加申し込み締切 オープンキャンパス
5月	6日(月) 9日(木) 13日(月) 16日(木) 24日(金) 25日(土)	(授業実施) グローバル英語コース留学説明会I 履修中止届出期間 派遣留学プログラム説明会(セメスター、韓国、姉妹) TOEIC IPテスト(希望者対象16:40~) 補講日
6月	1日(土) 9日(日) 9日(日) 14日(金) 22日(土) 22日(土) 22日(土) 26日(水)	補講日 オープンキャンパス 大学院説明会 大学院学内特別推薦出願開始 補講日 TOEFL ITPテスト(希望者対象9:15~) 大学院説明会 大学院学内特別推薦出願締切
7月	6日(土) 6日(土) 14日(日) 15日(月) 20日(土) 27日(土) 30日(火) 31日(水)	補講日 TOEIC IPテスト(希望者対象9:15~) オープンキャンパス (授業実施) 補講日 補講日 前期授業最終日 定期試験期間※定期試験のほか補講を行うことがある。
8月	3日(土) 4日(日) 8日(木) 8日(木) 9日(金) 10日(土) 18日(日) 30日(金)	オープンキャンパス オープンキャンパス 夏期休暇 窓口事務取扱休止 窓口事務取扱休止 夏期一斉休業(窓口事務取扱休止) オープンキャンパス 窓口事務取扱休止
9月	2日(月) 3日(火) 7日(土) 8日(日) 25日(水) 26日(木) 26日(木) 28日(土)	【生福】④卒論ラフコピー提出締切(12:00) 前期追試験 大学院入学試験I期 オープンキャンパス 前期卒業式・学位授与式 後期授業開始日 履修検討(登録修正・仮登録科目2次募集)期間 TOEIC IPテスト(希望者対象9:15~)